



令和元年度 市民と市長の意見交換会 ふれあいトーク・レポート

木花中学校区 令和元年8月8日(木)開催

ふれあいトークは、市長が市民の皆さまと地域の課題や市政について直接意見を交わし、課題解決に向けての方向性や具体的な方策を確認することで、地域と行政の相互理解を深めるとともに、市民目線での市政運営を進めることを目的に開催しています。

◆令和元年度のトークテーマ

トークテーマ ～子どもたちの未来のためにできること～

トークの柱 『住み続けたいと思うまちづくり』

10年目を迎えた市長と市民の意見交換会「ふれあいトーク」。今年度からはトークテーマを「子どもたちの未来のためにできること」とし、子どもたちの「教育」について各中学校区単位で意見交換を実施しています。

◆市長から情報提供 とことん住みやすく、力強く発展するまちづくり

●地域の現状等を共有

①宮崎市でも人口減少が進んでおり、今後さらに人口減少が加速する見込みです。

- ・宮崎市全体の人口推移 令和元年 402,524人 ⇒ 令和42年 291,719人 (27.5%減)
- ・木花地域自治区の人口推移 令和元年 11,910人 ⇒ 令和42年 8,743 (26.6%減)

②若い世代の転出超過が大きくなっています。そのため魅力的な雇用創出と地元で活躍できる人材育成に取り組んでいます。

- ・宮崎市の年齢別の転入転出数をみると、15～19歳、20～24歳で大幅な転出超過となっています。
- ・市ではそのような現状に歯止めをかけるべく、企業誘致による新たな雇用の創出や、中学生を対象として県内企業を紹介する体験型進学・就職イベントなどを実施しています。

③人口減少が進むことで、地域の課題がより複雑化、多様化しています

- ・人口減少のスピードや高齢化率、歴史・文化は地域によって異なるため、それぞれの地域の特性に合ったまちづくりが求められています。

④地域には様々な組織や団体、行政機能があります。それぞれ連携し、特性を生かしたまちづくりを行いましょう。

⑤地域活動への参加で、元気な地域コミュニティを次の世代につなげましょう。

- ・木花中学校区での活動例…木花地区まちづくり体育祭、伝統芸能伝承（木花相撲踊り）、防災教室 等



▲木花中学校区の現状や課題、市が現在取り組んでいる施策などについて、市長が説明

◆ フリートーク

● トーク参加者からの意見

- 木花の良さは人のつながりが強いところ。地域の行事には子どもから大人まで多くの人に参加している。
- 木崎浜や加江田溪谷など自然が豊かだが、高規格キャンプ場やサーフスポットなど、流行に合わせた整備をすればもっと魅力的になると思う。また、地域資源のアピールにもっと力を入れると良いのではないか。
- 草刈りや祭りの準備などを地域のためには思わず、遊び感覚で取り組んでおり、自分が楽しいと思うことを常に求めていたら、周りの人が喜んでくれた。地域の人で楽しみながらまちづくりができれば良いと思う。



● 大学生からの意見

- 木花には大学があるため、若い人が多い。若者の力を生かして、大学生と地域の方が触れ合える場があると良いと思う。
- 大学では、地域資源の活用について学んでいるため、自分も地域の人と意見交換していきたい。大学生と地域が連携できる住み方ができれば。



● 中学生からの意見

- 木花地域はスポーツ施設は充実しているが、交通の便が課題と感じている。
- 生徒会であいさつ運動に取り組んでいる。こちらからあいさつをすれば、皆あいさつを返してくれるが、先にあいさつをしてくれる生徒が少ないのが現状。もっとあいさつが増えるようにこれからも頑張りたい。
- 中学校では3つのボランティア活動（V(ボランティア)プロジェクト、F(フラワー)プロジェクト、エコプロジェクト）に取り組んでいる。特にエコプロは今年度から始めた活動であり、使い捨てコンタクトレンズの容器を回収してリサイクルにつなげている。目標達成に向けて頑張っていきたい。
- 学校で行う文化発表会には、地域の人にも来てもらいたい。ホームページやポスターへの掲載など工夫できたら良いと思う。



● 傍聴席からの意見

- 朝の見守り活動において、少し前までは中学生からのあいさつがあまりなかった。あいさつ強化の取組のおかげか、現在は中学生からあいさつをしてくれるためとても嬉しく思う。ぜひ今後も取組を続けてほしい。
- 子どもとのふれあいの中で、感動と思い出づくりを念頭に地域のことを教えたい。そのためには、地元の大人が地域の良さを知らなければならないと思う。

● 市長からの回答、感想

- トークの中にもあったが、子ども達に感動を与えることは重要。心の中に残った感動は、住み続けたい、市外に行っても帰って来たいという気持ちにつながる。子ども達を育てる地域が感動を与え続けてほしい。
- 木花地域の特長として宮崎大学が挙げられるが、大学には海外から多くの留学生も訪れている。多くの留学生が暮らす木花地域の住民の皆さんは、海外から見た宮崎(木花地域)の魅力を、もっと知り発信していただきたい。私もよく市外から訪れた人に宮崎の良さを力説されるが、地域の皆さんもそういった(外から見た木花地域の)良さにもっともっと気づいてほしい。

～参加者アンケートより～

- ★中学生の意見は中々聞くことが無かったので新鮮な意見でした。
- ★地域のために、ではなくて自分たちが楽しんでやるという感覚でいろいろな取組みをしているとう意見が印象的だった。また、今回のトークで地元から一度外に出て木花を見直すことも大事と思った。

〈お問い合わせ〉

宮崎市 秘書課広報広聴室
TEL 21-1705
FAX 29-6547

